

# 米国姉妹都市派遣高校生 渡航レポート

町内在住の高校生2名が町姉妹都市協会から7月23日(木)から8月6日(木)までの2週間、米国オハイオ州デイトン市に派遣されました。ホームステイや市民との交流など貴重な体験をされた高校生たちのレポートを紹介します。

なお、高校生自らがデイトン市でのホームステイの様子について報告する「渡航報告会」を9月5日(土)、14時から保健センター研修室にて開催します。どなたでも参加できますので、ぜひご来場ください。

☎ 町姉妹都市協会事務局（総務課） ☎ 内線210

## ずっと笑顔でいられた デイトンでの日々 原口 麗子

デイトンでのホームステイは、私にとって大切な心の宝物が沢山増えた貴重な経験でした。また、英語がもっと話せるようになりたい！という思いがより強くなりました。

私がお世話になったお宅は驚くほど大きく、辺り一面はトウモロコシや大豆の畑で大自然の中に家がありました。ホストファミリーの方々はとても優しく博物館や観光地から地元のスーパーまであちこち連れて行ってくれ、沢山の事を紹介して下さいました。デイトンは航空宇宙や先端技術分野での研究が盛んだそうです。また、道路が4車線と広く信号機も多くありました。反対にアメリカ先住民の博物館もありデイトンを知る事でアメリカの歴史や社会について知ることがで

きると思えました。日常的な事で日本との違いを感じたところは、皆、沢山コミュニケーションをとる事です。買い物をする時にも店員さんと友達のように楽しく会話をします。2週間、英語だけの環境で過ごし伝えたいことが上手く話せず苦しい時もありましたが心は通じ合い、大変充実した日々を送れました。

このような機会を与えて下さった方々に感謝の気持ちで一杯です。ホームステイだからこそできたこの経験を将来必ず活かしたいと思います。



## 「CHANGE」 馬鳥 隆太郎

「CHANGE」・・・今回のホームステイは全てが挑戦でした。英語だけの日常へ飛び込むという、まさに未知の世界への冒険であり、タイトルの通り自分という世界を大きく揺るがし、改革させるものでした。ファミリーと5時間以上もサイクリングをしたり、ピクニックのために200個以上のハンバーグを一緒に作ったり、日本の日常ではできないような経験も沢山させてもらいました。英会話に関しても、積極的にファミリーや地元の人たちに話しかけ、アメリカの文化や習慣に触れることで、英語でのコミュニケーション能力を高めることができたように思います。中でも、最も自分を進化させたものがデイトンの野球スタジアムでの英語&日本語でのスピーチです。1万人もの大観衆の前で、全く緊張せずに、物怖じしないで堂々とできたことは自信に繋がり、与えられたチャンスを存分に楽しむことができました。そして、このホームステイの経験を通して、視野を広く持ち、何事にも果敢にチャレンジできる自分に出会えました。これからも進化して生きる自分を楽しんでいきたいと思えます。

最後に、素晴らしい時間を与えてくださったホストファミリー、及び私のことを支えてくれた大磯町の方々や両親に感謝いたします。

最後に、素晴らしい時間を与えてくださったホストファミリー、及び私のことを支えてくれた大磯町の方々や両親に感謝いたします。



☎ (61) 6997 町姉妹都市協会 石塚宅

町姉妹都市協会(石塚洋会長)では、7月15日から27日までの13日間、米国姉妹都市ラシン市の高中生3名をお迎えしました。高校生たちは町内のホストファミリー宅に滞在して、浴衣の着付け体験や、盆踊り大会、なぎさの祭典など、日本の文化や生活、歴史に触れました。また、ボーイスカウト・ガールスカウトとの交流などにも参加して、多くの町民との交流を深め、大磯での夏の思い出をつくり、帰国されました。

ラシン市から  
高校生が来磯